

蕨市新庁舎

～歴史・文化を活かし『未来の蕨』を創造～人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全でコンパクトな庁舎。建物外観は、蕨市の歴史と文化を活かし、執務空間の機能美「キューブ」の現代性と蕨宿を連想させる勾配のある「屋根」と広く市民を受け入れる「軒」の歴史性の融合が、蕨らしさを表現。外壁には蕨の伝統織物「双子織」の特徴的な色彩を織り込んだルーバーを採用。近接する「中仙道蕨宿まちなみ協定区域」の街並みとも調和し、日差しに対する遮熱効果を備え、特に土を素焼きしたテラコッタルーバーを使用してやわらかい表情を持つ新庁舎となっている。

施主：蕨市
設計：株式会社INA新建築研究所
施工：清水建設株式会社
所在地：埼玉県蕨市中央5-14-15
竣工：2023年10月(全面開庁)

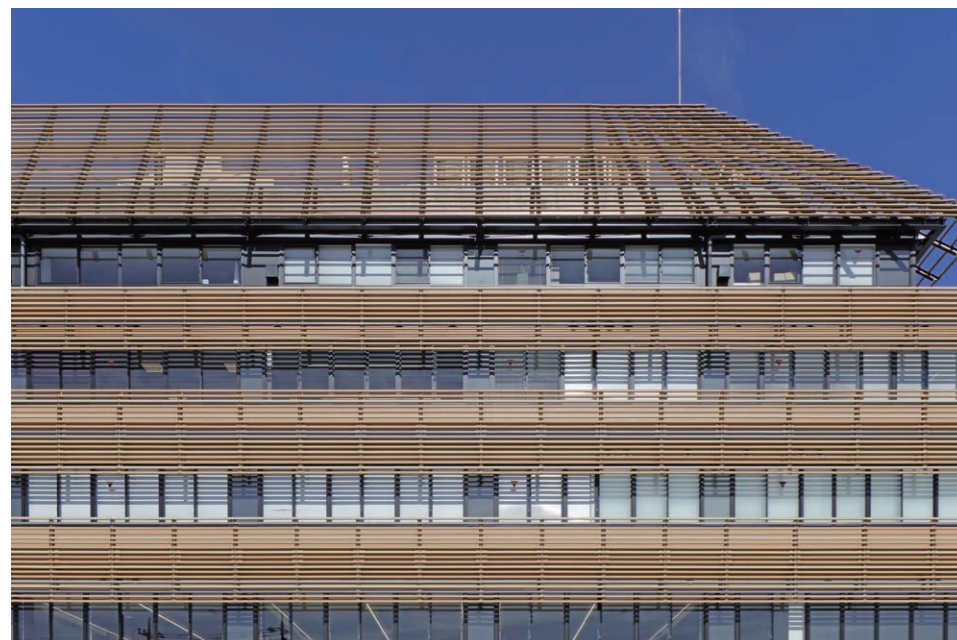
外装壁 テラコッタルーバー : TL-55-1600/3,6,7,9 MIX
外装床 ピエトラクォーツ : IPF-630/PTQ-11



外観



テラコッタルーバーは外壁側面に取り付けて更に軒下に吊り下げて施工。テラコッタルーバーは水平方向に一直線上に美しく設置されている。



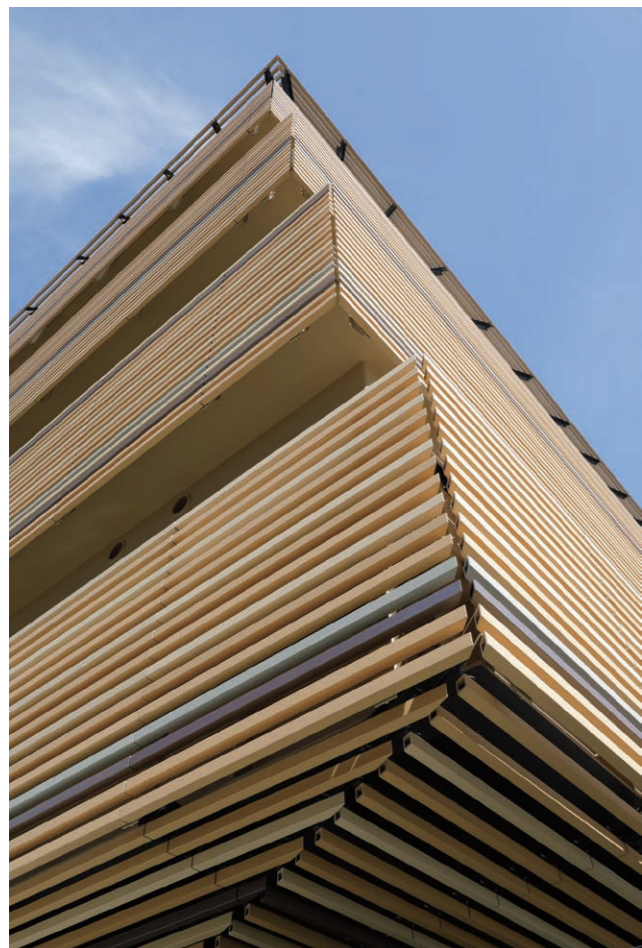
外装壁南側



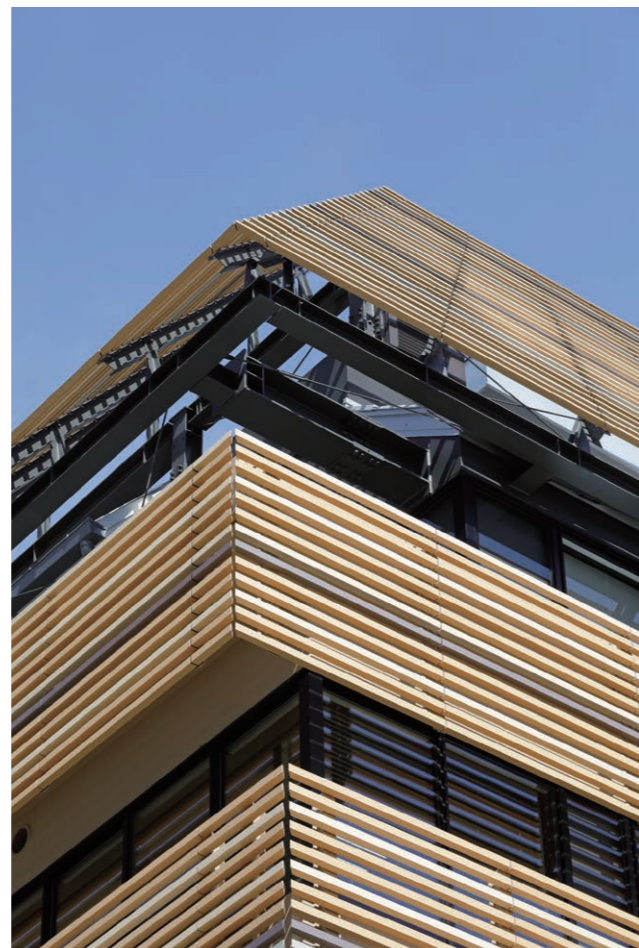
外装軒下



4色MIX他色使いで質感の違いを表現



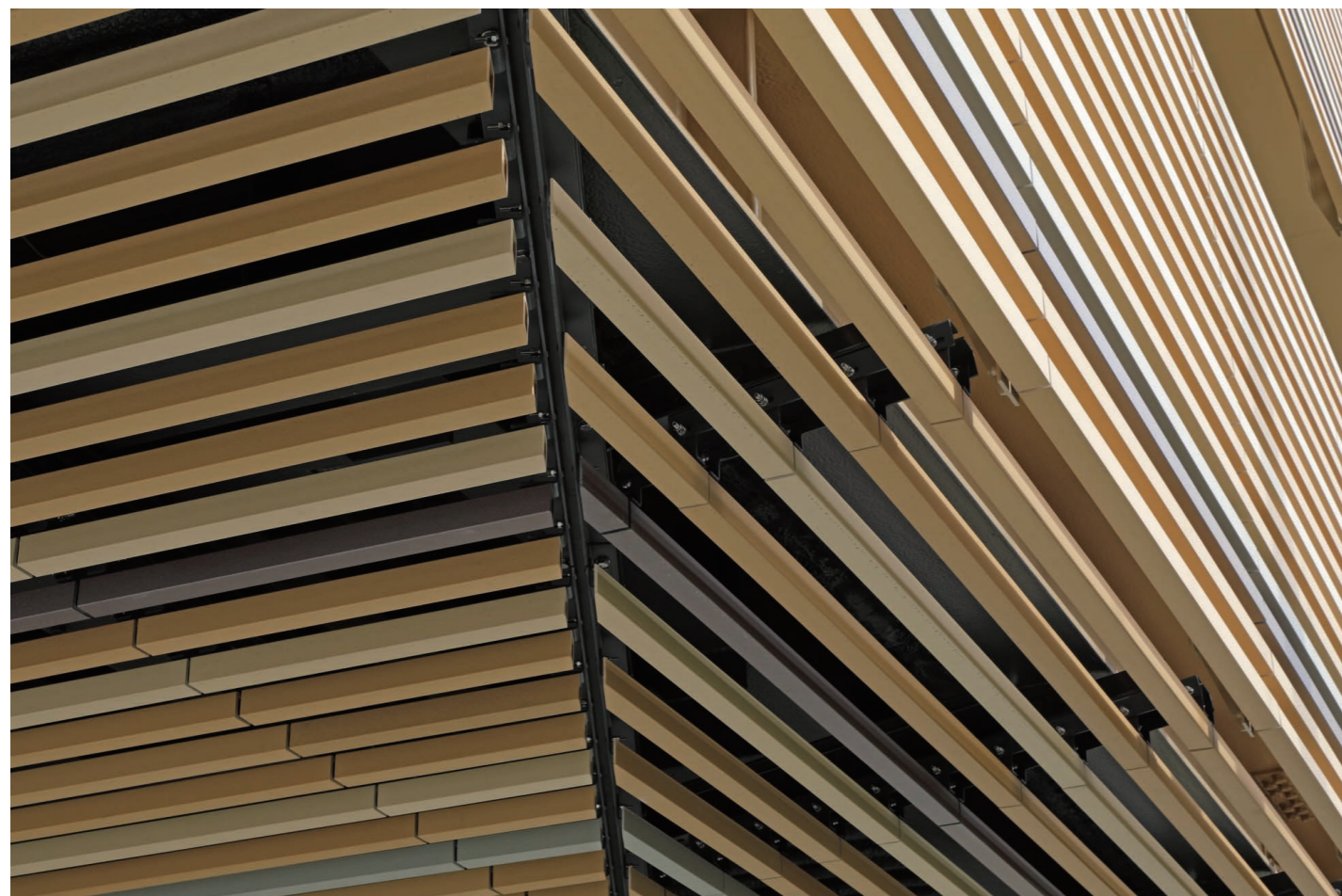
やわらかい表情でキューブを覆う外装壁



蕨宿を連想させる勾配のある屋根部



伝統的な織物『双子織』の特徴的な配色を4色のテラコッタルーバーで表現



広く市民を受け入れる「軒」を表現した軒天部



外装壁コーナー部